

### 通称 百円橋の通行を無料に

#### 合理的根拠なくできない

青木 綱次郎 議員(共産党)

①原発事故を想定した対策の現状と課題は、また原発そのものをなくすための取り組みを、

市長 原発が危険ということがあの事故で明確になった。原発から自然エネルギーへの転換を国策として進められたい。

危機管理監 国の方針や京都府防災計画見直しの動向を踏まえながら、今後対処していく。

②地域防災計画見直し



京奈和道の通称百円橋料金所

は市民の参加を取り入れて進めるべき。大規模盛土造成地マップの作成など、宅地耐震化推進事業に取り組みべき。

危機管理監 見直しは今後も多くの意見を聴けるように、その方法について研究していく。傾斜地では盛土造成の所にはできるだけ家を建てないことも重要なポイント。マップ作成は効果があると考える。府と情報交換の中で検討する。

③利子補給制度の継続と、中小零細企業への支援策の充実を求める。経済環境部長 現制度を1年間延長し平成24年度予算に計上する。中小企業対策は今後、考えていかなければならない。

④京奈和道の通称百円橋の無料化を、また新名神道路接続後の見直しは建設部長 この橋は生活道路でなく高速道とネ

⑤山手東地域から大住ふれあいセンター、大住中学校方面へJR線沿いに通る遊歩道の整備を。建設部長 山手東連合自治会からも要望がある。道路単体でなく北部地域全体の都市機能充実の一環として検討したい。

### 地域包括支援センターの強化は 複数化も含め検討する

①高齢者の絶対数は一層増加する。在宅での介護サービスの拡充と日常生活圏での介護・医療な



市役所に設置された地域包括支援センターの窓口

米澤 修司 議員(民主党)

②平成24年度も市立幼稚園の園児数はさらに減少する。預かり保育、送迎バスなど保護者のニーズは変化している。預かり保育の拡充や活性化施策について市の考えは、

③財政効果が期待できないとして、学校給食の民間委託を進めているが、22年度決算では、民間委託が実施された2校の学校給食経費は、直営の同規模校と比較しても相当上回っている。検証結果では民間委託の方が安いとなっているが本当か。24年度については民間委託計画を中断すべきではないか。

教育長職務代理者 預かり保育については、拡充が図れるよう利用時間の延長や保育料の負担問題、保育所との整合性も考慮しながら検討を進めている。幼保一元化への制度改正を踏まえ一層の活性化が課題となる。

教育長職務代理者 財政効果は、3分の2以上が正規職員による給食業務とした試算値によるもの。22年度の検証については正しい数字を示し再検証を行い報告する。委託を中止するかは計画に基づき6校の民間委託の試算とその効果が異なる場合は、改めて考える。

### 自転車専用道の整備を 安全対策を十分研究する

岡本 茂樹 議員(一新会)



自転車レーンが整備された歩道

①財政健全化計画の目標達成について、平成18年～22年の5ヶ年計画で取り組まれたが、市長はこの結果を、どのように

評価しているのか。市長 一応の目標は達成できたが、まだ明るい未来が見込める状況ではない。総務部長 経常収支比率は、5ヶ年間の、人件費等の削減努力や、税等の収納率向上の努力とともに、22年度に限っては交付税収入が21年度対比で大きく伸びて、比率が90%を割るといった良い数値が出たものと認識して

いる。23年度決算見込みや、24年度以降の見直しは不透明である。②環境にも健康にも優れた自転車の使用が急増しているが、これに伴う事故も増えている。市内の自転車道路の整備と安全対策について問う。経済環境部長 自転車通学、通勤は環境面、健康面双方に有用である。安心まちづくり室長 京田市内の自転車に

関わる事故は18年度以後55件前後で推移している。建設部長 自転車道の安全対策として、山手幹線松井ヶ丘から大住ヶ丘までの1.8kmと、三山木地区の府道生駒井手線の約1.1kmの2ヶ所で歩行者、自転車、自動車

### 食品の放射能検査をせよ 簡易検査では正確性欠く

次田 典子 議員(無党派)

①食品の放射能汚染が大変心配だ。視察した東京都小金井市ではチェルノブイリ原発事故後、市ノブイリ原発事故後、市で測定器を購入して市民が検査している。本市も早急に測定器を買い検査を始めるべきだ。簡易検査でもしなにより、するほうがよい。危機管理監 食品を通じての内部被曝の危険性は十分認識している。他

②大気中の放射能の測定結果を市民にわかりやすく公表せよ。危機管理監 市内の学校・園など32ヶ所で月2回測定し、12月からホームページで公表する。③枚方市が被災地のがれきを受け入れようとして

いる。23年度決算見込みや、24年度以降の見直しは不透明である。②環境にも健康にも優れた自転車の使用が急増しているが、これに伴う事故も増えている。市内の自転車道路の整備と安全対策について問う。経済環境部長 自転車通学、通勤は環境面、健康面双方に有用である。安心まちづくり室長 京田市内の自転車に



新たに導入された土壌の放射能測定器

完全分離の道路を整備中。公安委員会などが示す、交通規制誘導の方向を注視しつつ、本市の自転車道整備、安全対策を研究していきたい。自転車の整備も実施したい。③東日本大震災に伴う福島原発事故と同様、福井原発有事の際の対応について、被害想定に基づく地域防災計画の見直しは。

ているが、放射能拡散の可能性があり、大変危険だ。市民を守る立場から受け入れられないよう枚方市に申し入れてほしい。市長 枚方市と情報交換を密に対応していく。④サッカースタジアム誘致が議会への提案もななく唐突に発表された。多くのツケを将来に残す。文化施設も未整備であり第3次総合計画にも載っていない。発表に至った経緯を説明せよ。市長 府の公募に応じ

問う。問題なのか市長の認識を問う。市長 一つのまとめ役として大切だと考える。⑥市庁舎内の食堂を、例えばタニタ食堂のような市民にとって魅力的なものに改善してほしい。総務部長 利用者が増えるように業者に指導、要望したい。